

## 9 生き方を求めて

対象学年：第3学年（9月実施）

### 1. 題材：生き方

内容 （3）学業と進路

ア 学ぶことと働くことの意義の理解

エ 望ましい勤労観・職業観の形成

### 2. 題材について

#### (1) 生徒の実態

生徒は、夏休みの課題として上級学校調べを行うことを通して、卒業後の進路についてより具体的に考え始めている。しかし、目先の進学目標にとらわれるばかりでなく、「このような職業に就きたいからここに進学したい」、「将来の生き方のためにここに進学したい」といった長期的な展望をもって進路を考えている生徒は少ない。

#### (2) 題材設定の理由

進路を決定する人生の大きな岐路に立っている今、豊かな人生を歩んでいくために望ましい職業観を身に付け、また「生き方」についてもつなげて考える機会として、本題材を設定した。

### 3. 指導のねらい

「人はなぜ勉強するのか」という問いをきっかけとして、「人はなぜ働くのか」、「どんな人生を歩んでいきたいか」を考えさせる。職業選択の優先順位について発表し合ったり、職業の三要素についての説明を聞いたりすることで、様々な考え方があることに気付かせ、改めて自らの「職業観」や人生について考えることへつなげていく。

### 4. 学級活動（3）の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
人間としての生き方や学ぶこと、働くことなどに関心を持ち、自己のよさを伸ばしながら、自主的、自律的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。	自己の将来に希望を抱き、その実現に向け、現在の生活や学習を振り返り、これからの自己の生き方などについて考え、判断し、実践している。	学ぶことと働くことの意義や、自己の能力や適性、進路選択に必要な情報収集や将来設計の仕方などについて理解している。

### 5. 指導の過程

#### (1) 事前の指導と生徒の活動

これまで、近隣の様々な事業者職業インタビューをしたり、職場体験をしたりする中で、その仕事の意義や、やりがい、苦勞、その職に就くまでにたどる道のりを学んできた。義務教育の修了が近づく中で、望ましい職業観を形成し将来の生き方について考える。

(2) 本時の指導と生徒の活動

①本時の活動テーマ「望ましい職業観の形成を通して、自らの生き方を考える」

②本時のねらい

様々な人の意見を聞いて、自身の「職業観」について考えるとともに、職業の三要素について学び、自らの「生き方」についても考える。

(3) 本時の展開

	活動の内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法
活動の開始 10分	1 本時の活動の流れとテーマを知る。	<p>〈本時の活動の流れ〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時の流れを知る</li> <li>2 ワークシート記入</li> <li>3 話し合い活動</li> <li>4 職業の三要素を知る</li> <li>5 ワークシート記入</li> </ol> <p>・「人はなぜ勉強するのか」と、「人はなぜ働くのか」をつなげて発問する。</p>	
活動の展開 25分	<p>2 <b>【ワークシート】「働くてどんなこと  将来、どのような職業に就きたいと思いますか。」</b>に職業を選択する際の優先順位を考えて記入する。</p> <p>3 <b>【ワークシート】「働くてどんなこと  話し合ってみよう」</b>に、互いの意見を聞いて気づいたことや考えたことを記入する。</p> <p>4 各班の代表者が、班での話し合いの内容を発表する。</p> <p>5 職業の三要素についての説明を聞く。</p>	<p>・優先順位をつけた理由について、長い年月をかけて働くことを意識させ、記入するよう促す。</p> <p>・それぞれの「職業観」の違いに気づき、互いの価値観を尊重するように声をかける。</p> <p>・発表の中で気になった言葉や考えたことを<b>【ワークシート】「働くてどんなこと  発表を聞こう」</b>にメモをとらせる。</p> <p>・自身の職業観を見つめなおし、考えを深められるようにする。</p>	<p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <p>・職業を選ぶときの優先順位について、その理由をきちんと考え、表現している。 <b>【観察】 【ワークシート】</b></p> <p><b>【思考・判断・実践】</b></p> <p>・自分と違った意見を聞き、自分の考えを見直している。 <b>【ワークシート】</b></p>

活動のまとめ 15分	6 【ワークシート】「よりよく生きるために」に、「職業」という観点を入れ、どのような人生にしていきたいかを考え、記入する。	・どのように書けばよいのか悩んでいる生徒には、個別に声をかけて助言する。	【関心・意欲・態度】 ・職業の三要素について理解し、自己の考えを深めようとしている。 【観察】【ワークシート】
---------------	---	--------------------------------------	---

\*編集委員が実践した際の評価規準は「ゴシック体(太字)」で示しています。他は設定可能と考えられる観点です。

## 6. 本題材の工夫例

導入の部分で1年次の職業インタビューや2年次の職場体験、出前授業などのつながりのある学習活動について振り返ることで、生徒が職業について考えやすくする。

前半の職業選択の優先順位と後半の職業の三要素がリンクするように、新たに選択肢を付け加えるなど、学習内容のつながりを工夫する。

間近に迫った進路の選択に悩む生徒が多いので、その決定の根幹に「どのような人生を歩んでいきたいか」という視点を加えることを意識して指導する。

## 7. 本時に使用したワークシート

・【ワークシート】「わたしくしたちの生活と進路(平成29年度版)」

<9 生き方を求めて>ワード版を加工



### 9 生き方を求めて

私たちはこれまで、近隣の様々な職業インタビューをしたり、体験をさせていただいたり、出前授業をしていただいたりする中で、その仕事の意義や、やりがい、苦勞、そして、その職に就くまでにたどる道のりを学びました。そして義務教育の最高学年となった今、自身の進路について具体的に考え始めています。

ここでは、今までの学習から得たことを生かし、「働くことの意義」や「今の自分に必要なもの」「これからの学校生活に生かせること」を考えて、今後の人生について考えていく時間に行きましょう。

#### 働くこととってどんなこと

近い将来みなさんは社会に出て働きます。そして生まれてからこれまで過ごしてきた時間よりはるかに長い年月を社会人として過ごすこととなります。だからこそ自分の興味関心や適性に合った職業を見つけることがとても大切です。

将来、どのような職業に就きたいと思いますか。

◎あなたは、職業を選ぶとき、何を優先しますか。上位3つをあげてみてください。  
また、その理由を書いてみましょう。

- ④ やりがい ⑤ 給料 ⑥ 楽しさ ⑦ 特性、能力（専門性） ⑧ 働く時間 ⑨ 安定
- ⑩ 職場の雰囲気 ⑪ 人の役に立つ ⑫ 社会の役に立つ ⑬ その他（ ）

★1位 G    ★2位 E    ★3位 F

「理由」→ 仕事の内容や給料より、働く時間や雰囲気が、環境を大切にした方がいいと思いたがります。私生活も長く続けたいので、この3つを選びました。

あなたの選んだ「理由」を班の人と発表し合い、気付いたこと、考えた事をメモしましょう。

安定した暮らしを築くために

ある程度のお給料も収入だと思いたが。

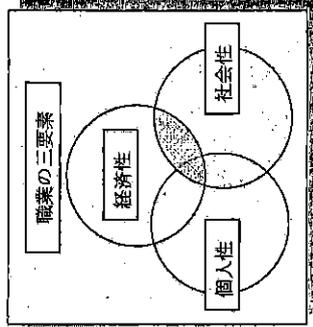


他の班の発表を聞いて、気付いたことや考えたことをメモしましょう。

心から仕事を「楽しい」と思っている人はほとんどいない。これ思っている人は、仕事に楽しさを感じることが、と書いていた。

#### 『職業の三要素』

職業の三要素として「経済性」「個人性」「社会性」があげられます。「経済性」とは、「働き収入を得ることで、生活を支えること」です。「個人性」とは、「目標や生きがいを持ちながら、実行あるものにする」とあり、「社会性」とは、「働くこと」によって社会に貢献すること」です。これらのことを踏まえて、「働く意義」について考えてみましょう。



「経済性」「個人性」「社会性」の3つの側面のどれに重きを置くかは、個々に異なります。また、仕事を続けるうちに、3つの側面のバランスにも変化が生じてきます。職業を選ぶにあたり、どの側面を重要視するかは、今のあなたが将来を見据えながら判断することです。

#### よりよく生きるために

長い人生の中では、社会人として働く時期が大部分を占めます。充実した人生を送るためには充実できる職業に就くことが大切であると言っても過言ではありません。もちろん、理想の職業（人生）に何を求めるかは人それぞれです。自分とは違った、友達の間違った職業に対する考え方を聞いて、自身の選択にもいかしていきましょう。

具体的にはどのような人生を歩んで生きたいか、自分の就きたい職業の特性も合わせて考え、書いてみましょう。

※例 先生としてたくさんの教え子と出たい、たくさんの人と関わって、たくさんの人の役に立つように生きていきたい。

私はこの世の中の女性の中で最も向きの職業に就きたい。今の世の中の子供、男女格差が大きいと思ってる。子供に与えるべき教育環境を整えたい。

#### 夢をもって働くために

職業に就けば、その中で様々な困難や苦勞もあることではしょう。しかし、自分の個性や能力を発揮し、生きがいを得ることもできます。私たちの先輩たちは、「職業人」として希望や意欲をもって「自分の力を伸ばしたい」「夢を実現したい」と努力を重ねています。また、その職業を選んだことに誇りを持ち、将来の自分の姿を見据え、困難に負けずに自分の人生を切り開いていこうとしています。

## 9 生き方を求めて

私たちはこれまで、近隣の様々な事業者<sup>事業者</sup>に職業インタビューをしたり、体験をさせていただいたり、出前授業をしていただいたりする中で、その仕事の意義や、やりがい、苦勞、そして、その職に就くまでにたどる道のりを学びました。そして義務教育の最高学年となった今、自身の進路について具体的に考え始めています。

ここでは、今までの学習から得たことを生かし、「働くことの意義」や「今の自分に必要なもの」「これからの学校生活に生かせること」を考えて、今後の人生について考えていく時間にしましょう。

### 働くことってどんなこと

近い将来みなさんは社会に出て働きます。そして生まれてからこれまで過ごしてきた時間よりはるかに長い年月を社会人として過ごすことになります。だからこそ自分の興味関心や適性に合った職業を見つけることがとても大切です。



将来、どのような職業に就きたいと思いますか。

◎あなたは、職業を選ぶとき、何を優先しますか。上位3つをあげてみてください。また、その理由を書いてみましょう。

- ㉠やりがい   ㉡給料   ㉢楽しさ   ㉣特性、能力（専門性）   ㉤働く時間   ㉥安定  
 ㉦職場の雰囲気   ㉧人の役に立つ   ㉨社会の役に立つ   ㉩その他（   ）

☆1位 \_\_\_\_\_

☆2位 \_\_\_\_\_

☆3位 \_\_\_\_\_

「理由」→



話し合ってみよう

あなたの選んだ「理由」を班の人と発表し合い、気付いたこと、考えた事をメモしましょう。

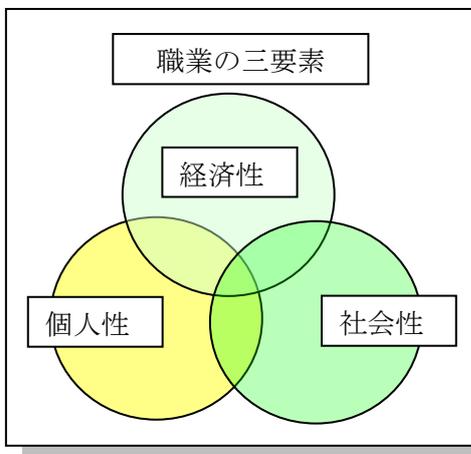


## 発表を聞こう

他の班の発表を聞いて、気付いたことや考えたことをメモしましょう。

## 『職業の三要素』

職業の三要素として「経済性」「個人性」「社会性」があげられます。「経済性」とは、「働き収入を得ることで、生活を支えること」です。「個人性」とは、「目標や生きがいを持ちながら、実りあるものにすること」であり、「社会性」とは、「勤労によって社会に貢献すること」です。これらのことを踏まえて、「働く意義」について考えてみましょう。



「経済性」「個人性」「社会性」の3つの側面のどれに重きを置くかは、個々に異なります。また、仕事を続けるうちに、3つの側面のバランスにも変化が生じてきます。職業を選ぶにあたり、どの側面を重要視するかは、今のあなたが将来を見すえながら判断することです。



## よりよく生きるために

長い人生の中では、社会人として働く時期が大部分を占めます。充実した人生を送るためには充実できる職業に就くことが大切であると言っても過言ではありません。もちろん、理想の職業(人生)に何を求めるかは人それぞれです。自分とは違った、友達の様々な職業に対する考え方を聞いて、自身の選択にもいかしていきましょう。

具体的にどのような人生を歩んで生きたいか、自分の就きたい職業の特性も含めて考え、書いてみましょう。



※例 先生としてたくさんの教え子と出会い、たくさんの人と関わって、たくさんの人の役に立つように生きていきたい。

## 夢をもって働くために

職業に就けば、その中で様々な困難や苦労もあることでしょう。しかし、自分の個性や能力を発揮し、生きがいを得ることもできます。私たちの先輩たちは、「職業人」として希望や意欲をもって「自分の力を伸ばしたい」「夢を実現したい」と努力を重ねています。また、その職業を選んだことに誇りを持ち、将来の自分の姿を見すえ、困難に負けずに自分の人生を切り開いていこうとしています。